



S3バケットを管理する

Amazon S3 storage

NetApp
November 10, 2025

目次

S3バケットを管理する.....	1
S3バケットを追加する	1
S3バケット設定を変更する	1
バージョン設定の変更.....	2
バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更する.....	2
暗号化設定を変更する.....	3
S3バケットでNetAppデータサービスを使用する	4

S3バケットを管理する

S3バケットを追加する

Amazon S3 システムが [システム] ページで利用可能になると、NetApp Consoleから直接バケットを追加できます。

手順

1. [システム] ページで、Amazon S3 システムをダブルクリックして [Amazon S3 バケットの概要] ページを表示し、[バケットの追加] をクリックします。

バケットの追加 ページが表示されます。

2. _バケットの追加_ ページで、バケットを作成するために必要な情報を入力し、*適用*をクリックします。

- a. バケットに使用する名前を入力します。
- b. バケットの所有者となる AWS アカウントを選択します。これは、コンソールエージェントが展開されたプライマリアカウント、または ["NetApp Consoleに追加した別のアカウント"](#)。
- c. バケットが作成される AWS リージョンを選択します。
- d. オプションで、バケットで S3 オブジェクトロックを有効にして、Write Once Read Many (WORM) モデルを使用してオブジェクトを保存できます。オブジェクト ロックを使用する予定の場合は、バケットの作成時に有効にする必要があります。オブジェクト ロックを有効にすると、バージョン管理も有効になります。 ["Amazon S3 ドキュメントからオブジェクトロックの詳細をご覧ください"](#)。

バケットが作成されます。

次の手順

バケットを最初に追加するときに、バージョン管理、タグ、または暗号化を手動で構成することはできません。バケットを作成した後、バケットのその他のプロパティを構成できます。 ["バケット設定の変更について詳しくは"](#)。

S3バケット設定を変更する

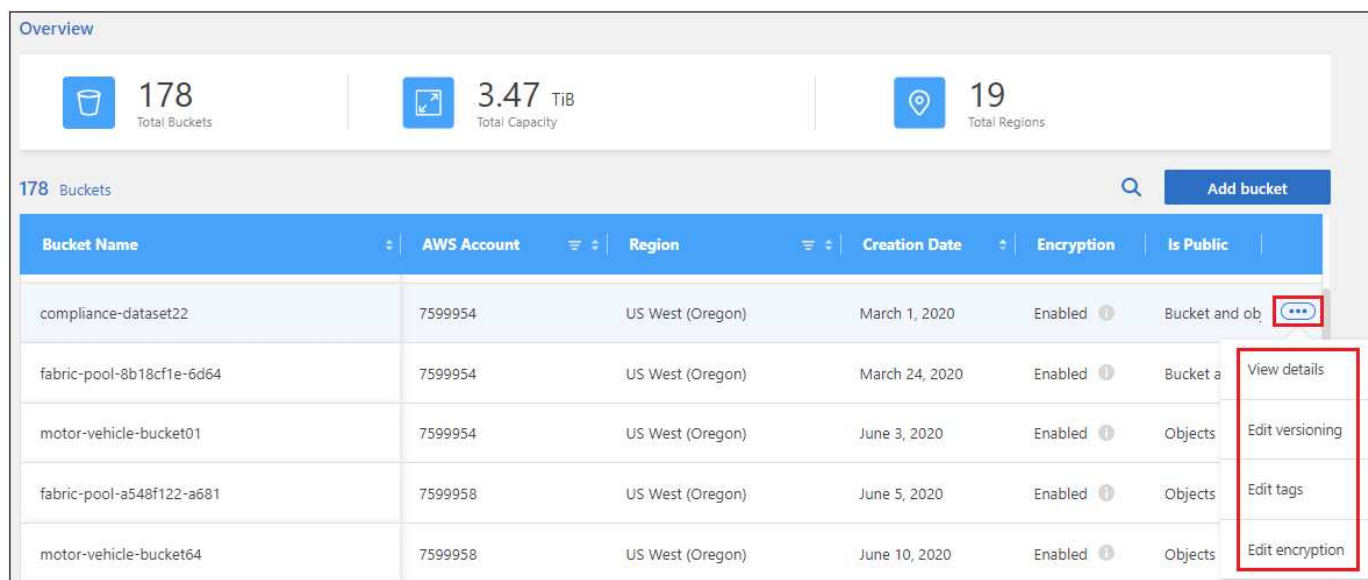
システム ページで Amazon S3 システムが利用できる場合は、NetApp Consoleからバケットの一部のプロパティを直接変更できます。

バケット名、AWS アカウント、リージョン、またはオブジェクトのロック設定は変更できないことに注意してください。

変更できるバケットのプロパティは次のとおりです。

- バケット内のすべてのオブジェクトに対してバージョン管理が有効か無効か。
- バケットに追加されるオブジェクトにタグを適用することを選択できます。
- バケットに追加された新しいオブジェクトが暗号化されているかどうか、および暗号化に使用されるオプション。

これらのバケット設定は、クリックすることで直接変更できます。...バケツ用。



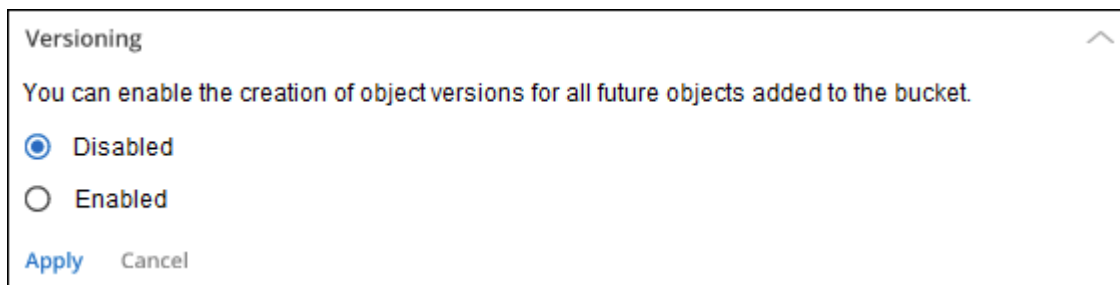
Bucket Name	AWS Account	Region	Creation Date	Encryption	Is Public
compliance-dataset22	7599954	US West (Oregon)	March 1, 2020	Enabled ⓘ	Bucket and ob...
fabric-pool-8b18cf1e-6d64	7599954	US West (Oregon)	March 24, 2020	Enabled ⓘ	Bucket a
motor-vehicle-bucket01	7599954	US West (Oregon)	June 3, 2020	Enabled ⓘ	Objects
fabric-pool-a548f122-a681	7599958	US West (Oregon)	June 5, 2020	Enabled ⓘ	Objects
motor-vehicle-bucket64	7599958	US West (Oregon)	June 10, 2020	Enabled ⓘ	Objects

バージョン設定の変更

バージョニングを使用すると、バケット内にオブジェクトの複数のバージョンを保持できるため、誤って削除または上書きされたオブジェクトを復元できます。今後オブジェクトがバケットに追加されるときに、そのオブジェクトのバージョン管理設定を変更できます。バージョン設定を変更しても、既存のオブジェクトの値は変更されません。

バケットの作成時にオブジェクト ロックを有効にしない限り、新しいバケットではバージョン管理はデフォルトで無効になっています。"[Amazon S3 ドキュメントからバージョン管理の詳細をご覧ください](#)"。

有効にすると、バージョン管理を一時的または永続的に停止する場合は、「一時停止」状態を選択できます。バージョン管理は一度有効にすると無効にすることはできません。



Versioning

You can enable the creation of object versions for all future objects added to the bucket.

☒ Disabled

☐ Enabled

[Apply](#) [Cancel](#)

バケット内のオブジェクトのタグを追加または変更する

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウド プロバイダーなどを識別するために使用できるメタデータです。タグはタグ キーとタグ値で構成されます。バケットにタグを追加すると、オブジェクトがバケットに追加されたときにタグがオブジェクトに適用されます。タグやタグ値を変更したり削除したりすることもできます。

NetApp Consoleによって作成された新しいバケットでは、タグはデフォルトで無効になっています。"[タグ付けの詳細については、Amazon S3 ドキュメントをご覧ください](#)。"。

Tags

Tags are metadata that you can use to group resources to identify applications, environments, regions, and more. You can assign up to 10 key/value tags to your bucket.

Tag key

Tag value

Add new tag

Type tag key

Type tag value

Apply Cancel

タグを追加したら、[適用] をクリックして変更を保存します。さらにタグを追加する場合は、「新しいタグを追加」をクリックします。バケットごとに最大 10 個のタグを追加できます。

暗号化設定を変更する

サーバー側の暗号化により、Amazon S3 の送信先でデータを暗号化できます。Amazon S3 は、データをディスクに書き込むときにオブジェクト レベルでデータを暗号化し、アクセスするときに復号化します。今後オブジェクトがバケットに追加されるときに、そのオブジェクトに使用される暗号化設定を変更できます。

NetApp Consoleによって作成された新しいバケットでは、「Amazon S3 管理キー (SSE-S3)」を使用して暗号化がデフォルトで有効になります。"サーバー側の暗号化の詳細については、[Amazon S3 ドキュメント](#)をご覧ください。"。

あるいは、「AWS Key Management Service キー (SSE-KMS)」を使用して暗号化を有効にすることもできます。顧客が独自に提供したキー (SSE-C) を使用して暗号化することも可能ですが、この機能はコンソール UI からは使用できません。Amazon インターフェイスを使用する必要があります。

Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type

Amazon S3-managed keys (SSE-S3)

AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

Bucket key

Enabled

Apply Cancel

「AWS Key Management Service キー (SSE-KMS)」を選択した場合は、すでに作成した AWS KMS キーを選択することも、AWS KMS キー ARN (Amazon リソースネーム) を使用することもできます。

Encryption

Server-side encryption is automatically applied to new objects stored in this bucket. [Learn more](#)

Encryption key type i

☐ Amazon S3-managed keys (SSE-S3) ☒ AWS Key Management Service key (SSE-KMS)

AWS KMS key

☐ Choose from your AWS KMS keys ☒ Enter AWS KMS key ARN

AWS KMS key ARN i

`arn:aws:kms:<region>:<account-ID>:key/<key-id>`

Bucket key i

☒ Enabled

"AWS Key Management Service の詳細については、[Amazon S3 ドキュメント](#)をご覧ください。"そして約 "顧客キーとAWSキーの使用"。

S3バケットでNetAppデータサービスを使用する

NetApp Consoleで S3 バケットを検出したら、バックアップ、階層化、分類、およびデータ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- * NetApp Backup and Recovery* を使用して、オンプレミスのONTAPおよびCloud Volumes ONTAPシステムから S3 オブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAPシステムを Amazon S3 システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Amazon S3 ストレージにバックアップする方法の詳細"](#)。

- * NetApp Cloud Tiering* を使用して、オンプレミスのONTAPクラスターから S3 オブジェクト ストレージに非アクティブなデータを階層化します。

開始するには、[システム] ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムを Amazon S3 システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Amazon S3 ストレージに階層化する方法の詳細"](#)。

- * NetApp Copy and Sync* を使用して、S3 バケットとの間でデータを同期します。

開始するには、「システム」 ページに移動し、ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。Amazon S3 システムはソースまたはターゲットのいずれかになります。

Amazon S3 システムを選択し、[サービス] パネルから [コピーと同期] をクリックして、S3 バケットとの

間でデータを同期することもできます。

["NetApp Copy and Syncサービスの詳細"](#)。

- * NetApp Data Classification* を使用して、S3 バケットをスキャンし、個人データや機密データを探します。NetApp Data Classification は、NetAppソリューション用に作成されたかどうかに関係なく、アカウント内の任意のバケットをスキャンできます。

開始するには、Amazon S3 システムを選択し、[サービス] パネルの [分類] セクションから適切なオプションを選択して、S3 バケットのスキャンを開始します。

["NetApp Data Classificationサービスの詳細"](#)。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。